

新産会



新世代産業研究会 / 発行
発行責任者 粕谷 健次
編集責任者 三浦 光広
平成25年12月1日 発行

Regain Vitality! Create "Wow"!!

<http://www.shinsankai.gr.jp>

愛知県産業労働部長との勉強会のご報告

さる11月11日（月）、東京第一ホテル錦（会場：ドルチェ）におきまして、小山和久（おやまかずひさ）愛知県産業労働部長を囲んでの勉強会が行われました。ご来賓として、愛知県産業労働部中小企業金融課長 清水幹良様、主幹 伊藤利博様、公益財団法人あいち産業振興機構理事長 志治孝利様、常務理事兼事務局長 岩貝和雄様等をお迎えし、会員出席者27名と愛知そふいあ会より3名の総勢30名の参加にて、盛大な講演会&勉強会となりました。



小山 和久

本年6月より就任された小山部長の講演は、愛知県産業労働部により作成された「経済動向と産業労働行政」なる分厚い資料には一切触れず、ご自身の経歴をもとに経済産業省入省から今日に至る中でのエピソードを、面白おかしく、時にはペースにわかり易くご講話頂きました。ご自身を「お役人」と呼ばれたり、「飲み会」と称した接待でのちょっとした裏話など、常に国の重責を担っておられるにも拘わらず、非常に親しみ易い感情を抱かせて頂きました。

エピソードとしてご自身の就活に際し、各省庁への面接を繰り返す中で、省庁によってはやる気満々のところがあったり、体育会系または硬派系だったり、または非常に知的なところもあったりと、個性豊かな省庁が多い印象を抱かれたそうです。その中で、やはり専門的知識を日本のために活かそうと言う気構えで、通商産業省（現経済産業省）を選択されたそうです。

ほぼ2年毎に異動があるお立場において着任3ヶ月で全てを把握し、ミッションを遂行しなければならない点などのご苦労話もございました。

（裏面へ続く）



(表面より続く)

内閣府に着任された際には、昨年新産会事業の中でご講話いただきました現内閣総理大臣補佐官、内閣広報官の長谷川栄一氏（元中小企業庁長官）とも懇意であられ、内閣府から発表される月例経済報告、いわゆる経済白書の作成にも共に携わっておられます。

中小企業庁では、現在の国と企業の関係性を「企業が国を選ぶ時代」に変化している状況で、国が出来る施策も変化しているとお考えを元に、通常国会に提出された「平成23年度中小企業の動向」及び「平成24年度中小企業施策」の経済対策報告書作成にご尽力をされたそうです。

そして現産労部長として、愛知県の中小企業が持つポテンシャルの高さを再確認された上で、①中小企業の海外展開、②国内競争力強化、③円滑な事業継承、④国内での業種変更も考慮 など愛知県として多岐に渡る施策を以って中小企業を応援して行く考えとの事です。

最後に小山産労部長直々に、来年の勉強会にもご出席いただけるとのお言葉をいただきましたので、来年も楽しみにしたいと存じます。

★質疑応答

株式会社 ヤマキ 代表取締役 鈴木英昭 様
菱輝技術センター 株式会社 代表取締役 原敏城 様
合資会社 トビシマ製作所 代表社員 伊藤秀樹 様（飛島村議員）
(内容につきましては紙面の都合上、割愛させていただきます)

★懇親会

引き続き同ホテル内のアンピオに会場を移し、懇親会が開催されました。
あいち産業振興機構 志治理事長の乾杯の挨拶のあと、小山産労部長を囲みながら、また、山田副会長の計らいでジャズシンガーの牛島とし子さん、バイオリニストの高由美さんはじめ名ピアニストの演奏を交え、大変和やかな懇親会になりました。
(29期 深井 昇)

